

【どんな言葉を選ぶかが大事】

11月も終わり、寒さも強まってきました。
日々の子育て・家事・お仕事その他、お疲れさまです。

さて人は生れてから死ぬまでいったいどのくらい言葉に出会うのでしょうか。
昔むかし、人は鳥のように音をつなげた歌で意思の疎通をしていたと言います。
それが、やがて意味のある言葉に変わり、会話になっていったのだとか。
生きていくため、人とつながるために、心に浮かぶ想いを言葉にしたのだとか。
私達の国、日本には一つの物を示すのに、数えきれないほどの言葉が存在します。
言葉は「優しい言葉」「厳しい言葉」「きれいな言葉」など、さまざまです。
成長途中の子ども達は、日々私達大人から、お友達から、テレビやYouTubeから、絵本からなど、
大きな影響と刺激を受けて自分の語彙を増やしています。
自分の中にある「言葉」は自分だけの宝物。
その中から、私達大人はどんな言葉を使っていますか？投げかけていますか？
保育士である私達は、なるべく肯定的な言葉を使うよう心掛けています。
例えば廊下を走っている子どもに対しては、「走りません」ではなく「歩きます」というように、『こう
なってほしい』という姿を言葉にします。
子どもが「出来ない」と言ったら、「どうして出来ないの？」ではなく、「出来るためにはどうしたらいい
かな？今、出来ることは何かあるかな？」など・・・。
このように子どもが迷った時や間違った時などに、身近にいる私達大人が子どもに対してどんな言葉を使
うのか、選ぶのかは子どもにとって、後々大きな影響を与えます。
肯定的な言葉の中で成長した子どもは自分だけでなく他人をも肯定出来るようになりますし、これからの
人生の中で壁にぶつかった際には、前向きに考えることが出来る人になるように思います。
皆さんも経験があるように、日常使われている言葉は、勇気をもらったり心が痛んだりするといった、
人の感情や行動に影響を与える力を持っています。
言葉が持つ力。言葉に秘められた力。言葉は、聞く人の心を動かし、感動させ、行動へつなげることが
出来ます。
そして、相手だけではなく、自分自身にも影響を与える力を持っています。
だからこそ、毎日の言葉、自分が発する言葉を大切にしていきましょう。
そして、子ども達には、出来るだけ前向きな言葉のシャワーをたくさん浴びせてあげたいですね。

【心葉】という言葉を知っていますか？私は初めて知りました
心葉とは、「心」あるいは「心ばえ」のこと。あふれる想いや感情のこと。
なんだかきれいな言葉ですね。

(岩澤)